



# 県立図書館3月の新着図書紹介

(児童資料班編)

岡山県立図書館 2013. 3. 12 発行

## 『アリゲール デパートではたらく』

植垣 歩子/作 ブロンズ新社/発行 2013年 請求記号 E/ウエ 資料番号 0011736394

### 【内容】

旅行が好きなワニのアリゲールは、旅の途中に列車の窓から見えたアドバルーンにつられ、デパートへ行くことにしました。お昼ご飯を食べようと入ったレストランで、ついつい食べ過ぎてしまい、お金が足りなくなってしまう。そこで、足りない分をデパートで働いて返すことにしたのです。しかし、失敗ばかりで、あちこちの売り場へ回されてしまいます。でも、最後には…。

細かくデパートの中の様子や、アリゲールの失敗するかわいい表情が描かれています。また、物語のはじめに「さがしてみてね」と5組のお客さんが載っていて、お話以外に絵探しも楽しめる一冊になっています。

## 『メルリック まほうをなくしたまほうつかい』

デビッド・マッキー/作 なががわちひろ/訳 光村教育図書/発行 2013年 請求記号 E/マツ 資料番号 0011738101

### 【内容】

メルリックはお城で働く魔法使いです。魔法を使って王さまの命令を何でも叶えたり、町中の人々の仕事を手伝ったりします。みんなメルリックに頼りきりで、メルリックがいなくなると何もできません。そんなある日、メルリックの魔法が使えなくなり、王様も、町中の人々も、さあ大変。メルリックは困り果て、まほう大王のクラ先生に助けを求めに行きました。しかし、メルリックは、クラ先生から「魔法を使いすぎている」と叱られるとともに、「人を助ける」という本当の意味を教えられました。今回だけ魔法を戻してもらったメルリックは、お城に帰ったのですが、敵の兵隊に攻められ、たいへんな騒ぎになっていました。この時、メルリックのとった行動とは。

クラ先生がメルリックに言った言葉がとても心に残ります。魔法のように便利なものに囲まれて暮らしている現代の私たちにとっても大切なことを気づかせてくれる一冊です。

## 『まんが47都道府県研究レポート⑤中国・四国地方の巻』

おおはしよひこ/作 偕成社/発行 2013年 請求記号 C291/オオ5 資料番号 0011736170

### 【内容】

まんが47都道府県研究レポートは全6巻のシリーズです。本書はその第5巻で、私たちの住む中国・四国地方が舞台です。やんちゃでダジャレ好きの妖精「またさぼろう」と旅行好きの女の子「リョーコちゃん」が、旅をしながらそれぞれの県の地理や歴史、産業などを楽しくレポートします。岡山県の章では、桃づくりや児島の繊維産業が発展した理由や大原美術館などが紹介されています。そして、おかやま桃太郎まつりの「うらじゃおどり」も載っているので驚きです。この本を読んでいると、意外なこと気づき、新しい発見があります。楽しく各県についてレポートしてあるので、思わず小旅行に行きたい気分になります。小学生が社会の学習で身近な県についておおまかに知るのに適した本ではないでしょうか。

## 『狛犬の佐助 迷子の巻』

伊藤遊/著 岡本順/絵 ポプラ社/発行 2013年 請求記号 C913/伊1 資料番号 0011737913

### 【内容】

神社に、石でできた犬が2頭いることを知っていますか。彼らは狛犬といい、口に玉をくわえているほうを(あ)、口を閉じているほうを(うん)と呼びます。この物語に登場する明野神社の狛犬には、150年前の石工の魂が入っています。(あ)には石工の親方の魂が、(うん)にはその弟子の佐助の魂が宿っていて、2頭はよくおしゃべりをします。(うん)の佐助は、近頃、宮司に「(あ)に比べて彫りのできが悪い」と言われ、ちょっと落ちこんでいます。その彼の楽しみは、大工見習いの耕平が話しかけて来てくれることです。耕平は、行方不明の飼犬であるモモが見つかりますようにと願いをかけた後、一日の出来事を話して帰ります。飼犬がいなくなった耕平を励ましたいと思った佐助は、神社に来る子どもたちの話から、モモの居場所の見当を付け、耕平と一緒にモモのところへ向かうことにします。どうやって石の姿の佐助は、神社の外を冒険するのでしょうか。そして佐助は無事に明野神社に帰れるのでしょうか。ドキドキしながらページをめくってしまいます。

## 『フランス児童文学のファンタジー』

石澤 小枝子 高岡 厚子 竹田 順子/著 大阪大学出版会/発行 2012年 請求記号 909.3/イソ13 資料番号 00115924

### 【内容】

今日、私たちの周辺には数多くのファンタジーがあります。本書では特にフランスの物語にスポットを当て、成立の過程やその普遍性、魅力を明らかにしていきます。取り上げる物語は、よく知られた、もしくはとても身近なものを題材としたもので、例えば、最初の昔話に登場する「灰かぶりのマリ」はシンデレラの名前で日本でもよく知られた物語の1パターンであるし、現代の作品では、『星の王子さま』や蛇口から出てくる妖精の物語などが紹介されています。このような、いろいろな時代に描かれたファンタジーが解説と共に物語の本文も掲載されているため、研究者でなくとも広く読んでもらえます。また、読み進めるうちにフランスのファンタジーの多くが、現実のすぐ裏側にあるふしぎ(メルヴィエ)を描き、独特のエスプリが加わっていることに気づかされます。序文にあるとおり、児童文学の解説としてだけでなく、純粋に物語を味わう楽しさも感じさせてくれる一冊です。

★ 貸出は15日以内10冊までです。

今月のテーマ展示は『てがみ てがみ てがみ』『春の本』(3/19~5/21)です。

お問い合わせ先:岡山県立図書館 1階 児童資料班 086-224-1286  
ホームページ: <http://www.libnet.pref.okayama.jp/> (蔵書検索もできます)